

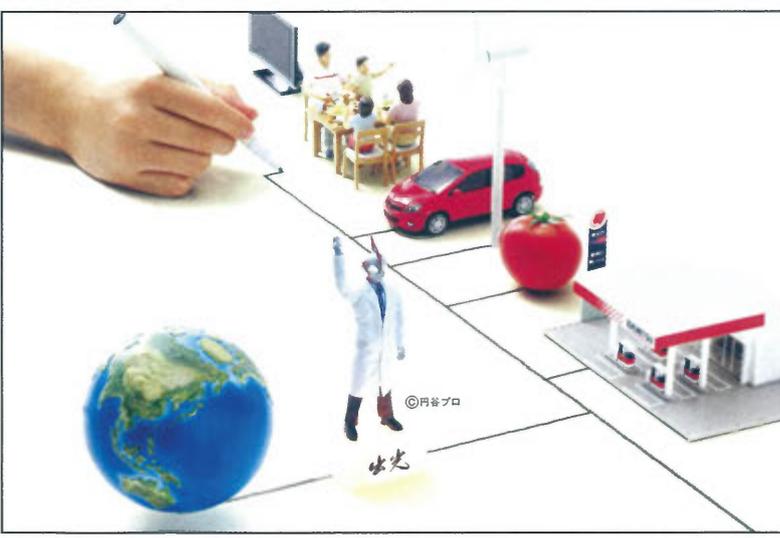


第三十三回 宗像大社小倉百人一首かるた大会

二日間で三六〇名が参加、東大かるた協会・石塚量見が頂点に



六月十四日・二十一日の両日、第三十三回小倉百人一首かるた大会(主催〓宗像大社、全日本かるた協会、主管〓九州かるた協会、後援〓宗像市教育委員会)が、清明殿・斎館で開催された。  
 大会一日目、十四日は小・中・高校生を中心に約一三〇名が参加し、D級、初心者、シニア級で試合が行われた。各級ともに静寂の中息詰まる熱戦が夕刻まで繰り広げられた。  
 大会二日目、二十一日は、A・B・C級(有段者)の試合が行われ、九州は勿論、遠く関西・関東からも実力者がそろい約一三〇名が参加する中、高いレベルの試合が行われた。



この幸せな日々が、ずっと続いていくために。

私たちは、地球に古くから存在する様々な資源と向き合ってきた会社。だからこそ知恵を出し合って、人と地球にもっともっと貢献しなければならないと思っています。人間が、豊かな感情をわちあいながら、地球に学び、地球と共存していくために。子どもたちの子どもの、そのずっと先も、私たちがこの星で暮らしていくために。出光は最先端の技術で、循環型社会をつくっていきます。

出光

ほっと安心、もっと活力、きっと満足。出光の約束 ウルトラ出光人



特に高段者が参加するA級は実力が伯仲し、激しい攻防戦が繰り広げられた。その結果、東大かるた会の石塚量見氏が接戦を征し、見事初の栄冠を勝ち取った。

大会前には新型インフルエンザの流行も懸念されたが、大会関係者・選手総勢二六〇名が一致協力し盛大裡に大会は無事終了。互いの健闘を称え合い、再開を誓って大社を後にした。

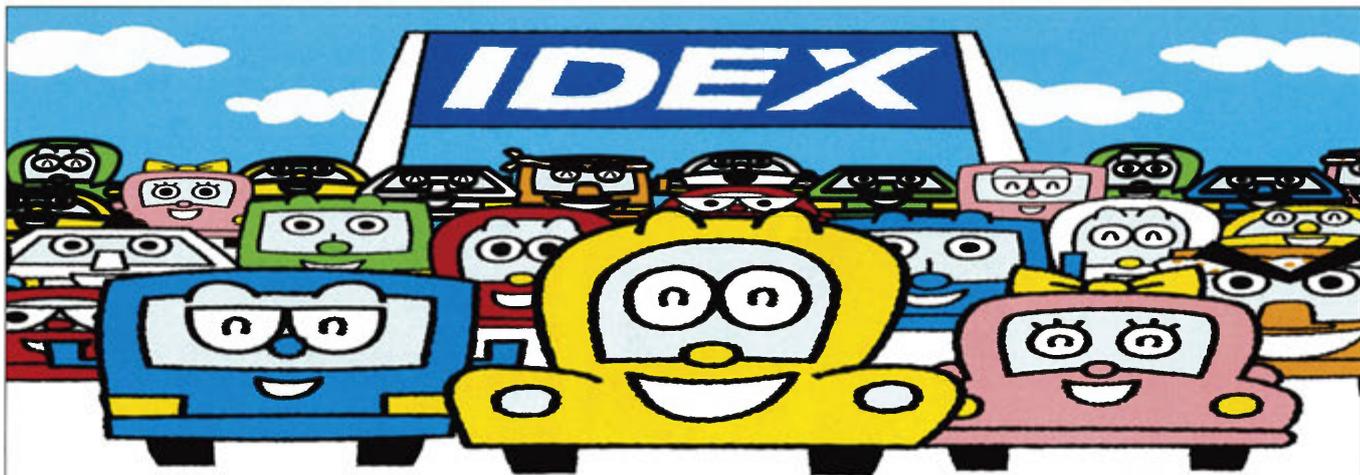


**人事異動(神職)** 8月1日付で人事異動を下記の通り行いました

宮司	高向正秀	神宝館々長
権禰宜	堤津幹之	文化財管理事務局長
〃	〃	庶務部長
〃	〃	海洋分局長
〃	〃	社務本局長
〃	〃	氏子青年会事務局長(兼)
〃	渡邊秀丸	経理部長
権禰宜	杉山安彦	祭儀部長
〃	〃	宗像護国神社管理主任(兼)
〃	〃	宮司兼務社管理主任(兼)
〃	佐々木大治	祭儀部 儀式課主任
〃	〃	氏子会幹事(兼)
〃	中原裕生	経理部 用度課主任
〃	〃	宗像大社菊花会事務局長(兼)
〃	坂本敬之	海洋分局主任(中津宮)
〃	御床直之	祭儀部 賽務課主任
〃	〃	氏子会幹事長(兼)
〃	〃	氏子青年事務局員
〃	大塚宗延	庶務部 広報課主任
〃	〃	宗像大社歌会担当(兼)
〃	長友貞治	経理部 会計課主任
〃	〃	主基地方風俗舞保存会事務局長
〃	壺岐貴寿	庶務部 庶務課主任
〃	〃	氏子会幹事(兼)
〃	〃	宗像大社菊花会事務局員(兼)
〃	松林拓	庶務部 庶務課員
〃	〃	宮司秘書(兼)
〃	吉野理	経理部 用度課員
〃	〃	氏子会幹事(兼)
〃	〃	主基地方風俗舞保存会事務局員(兼)
出仕	日高庸介	祭儀部 儀式課員
〃	〃	氏子会幹事(兼)
〃	鈴木祥裕	祭儀部 賽務課員
〃	〃	宗像大社菊花会事務局員(兼)
〃	船越裕介	祭儀部 儀式課員
〃	〃	氏子青年会事務局(兼)

**第33回 全国かるた競技宗像大会成績表**

<b>A級/47名</b>	優勝	石塚 量見	(東京大学かるた会)
	準優勝	秋澤 孝佳	(神戸大学かるた会)
	3位	中田 聖奈	(島根県かるた協会)
	3位	森 達哉	(東京大学かるた会)
<b>B級/45名</b>	優勝	徳田 有紗	(鹿児島県かるた協会)
	準優勝	束前 愛	(熊本県かるた協会)
<b>C級/45名</b>	優勝	江藤 咲月	(熊本県かるた協会)
	準優勝	野村 美樹	(島根県かるた協会)
<b>D級/70名</b>	優勝	大久保 潤	(筑紫女学園中学校・福岡県)
Aパート	優勝	山本 健	(九州大学・福岡県)
Bパート	優勝	谷口 絢香	(福岡中央高校・福岡県)
Cパート	優勝	〃	〃
<b>初心者の部/53名</b>	優勝	古賀由美子	(若菜会・福岡県)
中学生以上(18名)	優勝	石谷あさひ	(三芳かるた会・大分県)
小学生(24名)	優勝	藤木美千子	(行橋かるた会・福岡県)
シニア級(11名)	優勝	〃	〃



**株式会社新出光**

〒812-0036 福岡市博多区上呉服町1番10号 TEL(092)291-4134

# 宗像市海開き

六月二十九日、神群宗像に夏の行楽シーズンを告げる海開き神事が、宗像観光協会(会長 吉武邦彦氏)、玄海ホテル旅館組合(組合長 原重司氏)主催で執り行なわれた。

午前十時、葦津祢宜以下神職二名が出向。生憎の雨模様となった為、急遽玄海魚市場で祭壇を組み、宗像観光協会、玄海ホテル旅館組合、神湊飲食店組合(会長 安部修市氏)、水難救助所(所長 永島一清氏)ら、海に関わる関係者が多数参列し、海



難事故の無いように、大勢の方々が宗像の海を訪れるようにと敬虔な祈りを捧げた。

神湊での神事が終了すると、神職が二手に分かれ、深浜海岸、鐘崎漁港、五月松原、江口浜(江口)、勝浦海岸(津屋崎)など、市内の各海水浴場へ向かい清祓を行ないすべての神事を終えた。



各海水浴場は夏休みが始める大勢の人で賑わうが、例年高波などで危険な目に遭われている方が多数いるとの事。

長きに亘り玄界灘を見てきている宿泊先の方や地元関係者の方々の注目を軽視せず、宗像の海水浴場で楽しい夏の思い出を作って頂きたい。

## 福岡県神社庁 雅楽定例練習会開催

七月二日当大社斎館で、福岡県神社庁雅楽部会主催の雅楽定例練習会が夕刻五時より行われた。

福岡県神社庁雅楽部会は、県内の神社又は関係者が雅楽の奏上技術の研鑽・護持・継承を目的に福岡県神社庁内に設立され、現在は約五十名の会員で運営されている。

この定例練習会は、福岡県内の神社で二ヶ月に一度持ち廻りにて開催されており、今回は当大社の当番となり開催の運びとなった。

当日は夕刻といえども、暑さ大変厳しかったものの、県内から多数の会員の参加となり、当社の神職も多数参加し有意義な雅楽講習会とな

った。

受講生は笙・箏・龍笛の三管に別れ、参加者の希望により平素神社の祭典で奏でられる曲調(平調ひょうしょう五曲)を中心の練習会となり、日頃神前結婚式や月次祭で奏上しており、平素疑問に感じていた部分を質問したり、気付かずについた癖などを講師の先生方に指摘を受け、奏上技術の向上を計った。

夕刻八時には、境内も暗くなり尊厳な雅楽の調べが境内に響き渡っていたが、当日の講習会は終了となった。今回の講習会で勉強・研鑽した事が各神社の祭典奉仕でぜひ生かしていただきたいものである。

# SUGOCA

SUGOCAは駅やお店で使えるJR九州の便利なICカードです。福岡・佐賀を中心に125駅でご利用できます。



くわしくはSUGOCAホームページで

<http://www.sugoca.jp>



カイサツも。

スツ!と  
ゴー!!

カイモノも。







雅の雰囲気漂う落ち着いた会場

に奉納した扁額も公開。前者は三十六面のうち八面、後者は全三十面のうち八面を展示した。  
会期中は多くの来館がありご好評を頂いた。拝観者には書、絵画、歌を趣味や生業にする方、学術研究者がめだつたが、拝観リピーターや展覧会ポスターを欲しがらる熱狂的な方もいた。本展覧会は扁額の学術的意義だけでなく、当大社の輝かしい歴史の一端と宗像三女神の神威の尊さを理解いただく有意義な機会となった。この度の開催にあたりご協力賜った方に心より御礼申し上げます。

# 巫女神楽舞講習会



七月九〜十一日迄の三日間、神社音楽協会より磯部恵子先生をお迎えし、巫女十四名が浦安舞・悠久舞といった神楽舞の指導を受けた。  
期間中は午前九時より十七時、又勤務終了後も午後九時頃までと、温習は行われるも奉職巫女全員疲れを見せずしっかりと講習に励んでいた。又、「悠久舞」は昨年よりご指導頂き、舞う機会が少ない為か、苦戦しながらも懸命に取り組んでいた。



磯部先生の御言葉で「舞といううのは上手い下手ではなく、神様に対してお仕えしているという姿勢をみせる事が最も大切であり、気持ちのこもっていない舞だけは絶対に舞ってはならない」と、巫女らは今まで以上に奉仕に力を入れると意気込みをみせ、三日間講習会を終えた。



いい未来は、子どもたちを想うことから始まる。

子どもたちが夢んでいる。何があるかわからない未来に向かって、その小さな足で。

九州電力は、人のこと、自然のこと、未来のことをいっぱい考えて、もっともっと九州のために役立ちたいと願っています。子どもたちが安心して暮らせるよう、何気ない毎日を支えていきたいから。

今日と明日とそのずっと先の「快適で、そして環境にやさしい」毎日のために。  
<http://www.kyuden.co.jp/>



九州電力  
ずっと先まで、明るくしたい。



# 第十八回 宗像大社 氏子会 研修旅行 吉備津神社、出雲大社を参拝

七月二〜四日の二泊三日で、氏子会研修旅行が安部照生会長以下三十八名参加の下、吉備津神社、出雲大社参拝を中心とした行程で実施され、初日、二日目と時折雨に遭うも三日目は晴天に恵まれ参拝等には支障なく無事に終了した。

全行程バスでの旅行で、初日は岡山県の吉備津神社を正式参拝。国宝の事で拝見することは叶わなかったが、長さ約二〇〇間(三六〇以)の廻廊や、「鳴釜の神事」で有名な御竈殿なども見学させて頂き、有意義な



出雲大社にて

参拝であった。二日目は横山大観の絵画や五

万坪の日本庭園で有名な足立美術館の見学や一畑薬師参拝、松江市を散策し玉造温泉の宿に着いた。

宿では両日とも参加者全員で懇親会を行い、初日は瀬戸内海、二日目は日本海の海の幸に舌鼓を打ち、親睦を深めることができた。

最終日は出雲大社では正式参拝。「平成の大遷宮」の真つ最中で御本

## 心字池清掃

池底を改修、新たな水の循環システムを実施

二年毎に行われている心字池の清掃が、六月上旬から約三週間かけて行われた。

本年は五月中旬からの水温上昇、酸性雨、池底に堆積した汚泥(樹木の葉、鯉の糞)により急激に水質が悪化、病気が蔓延し推定五〇〇匹の鯉を失った。

当社の池の問題点は、流入する清水の量が少ないこと、下層の水が循環しないことによる樹木の葉、鯉の糞が池底に堆積しガスが発生することであった。そこで清掃に併せて



池底二ヶ所に枡を作り、そこにポンプを設置、堆積した汚泥を直接吸い上げ濾過槽で処理し、池に戻すという循環システムを整えた。更に浄化作用のあるホテイアオイを今まで以上に池に増殖させるようにした。これにより堆積する汚泥は減少、下層の水も循環し水質悪化は防ぐことが可能となる。

初めての試みであるが今後の経過が楽しみであり、一日も早く元気に鯉の泳ぐ美しい心字池となつてほしいものである。

殿は工事中で、囲いに覆われて拝することは出来なかったが、瑞垣内に案内いただき平素とは違った貴重な経験となった。

道中長い距離をバス移動であったが、一人の事故病気もなく無事に終えることができた。来年も多くの皆様の参加をお願いするとともに、今回の研修旅行に際し、格別のご高配を賜りました各神社宮司様をはじめ職員の皆様には、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。

## Think And Produce

株式会社ジーエータップ

本社  
福岡市博多区綱場町2-2  
福岡第一ビル1F 〒812-0024  
Tel 092-291-8801 Fax092-291-8805

東京事務所  
東京都千代田区九段北1-13-1  
九段中坂ビル3F 〒102-0073  
Tel 03-3221-1735 Fax03-3221-1736



私たちは生活者の立場で考え、顧客の立場で行動します。

私たちはユーザーの気持ちを的確に捉え、企業戦略から空間、個々の商品、サービスに至るトータルなステージで「デザイン」の力を発揮し顧客の企業価値の創造のお手伝いします。

<http://www.ga-tap.co.jp>

(続)

# 決の奇物

238



いしだい いたし

十月に行う新潟での漂着物学会の下見で、JRで名古屋、長野を経由して直江津から会場の新潟県・柏崎までを使い、かえりは新潟空港から福岡へ戻った。

途中長野で二泊をしたのは、福岡の歴史と自然を守る会の会員だった柳町

富美子さんが千曲市におられ、娘さんの車で、千曲市や長野市を案内して下さるためであった。千曲市は以前、更埴市と言っていたが、周辺を合併して千曲となった。千曲川が流れ、武田・上杉の川中島の古戦場もあり、戦国合戦の舞台である。千曲の名は更埴に較べ、歴史の重みもあり詩的な響きがある。長野の二泊の旅で、松代城とそれを



松代象山地下壕入口



地下壕の中に入る

とりまく名所旧蹟と、旧大本営地下壕跡(正式名称は松代象山地下壕となっている)は印象深いものがあつた。八月も近いので、旧大本営地下壕に触れてみたい。



徹夜で作業がおこなわれた

昭和十九年十一月に軍部が本土決戦の拠点として、極秘のうちに壕を掘削を進めていたものである。ここに天皇をお迎えして大本営(戦時または事変の際に設置された天皇の直属する最高の統帥機関)と政府各省等を置くというものである。開戦三年目、戦局は厳しく制海制空権も失ないつつ、本土への決戦の検討が進められていたのである。一八年にはガダルカナル島の撤退、四月には山本長官の戦死、アッツ島守備玉砕、一九年にはインパール作戦の失敗、サイパン、グアムの守備隊玉砕とレイテ沖海戦で連合艦隊の主力を失う。敗報がつづき、南方に展開していた占領地も失ないつつ本

土は空襲にさらされる。

軍部は松代の山の中の内陸部「大本営」を移して本土決戦に備えようとする。着工は一九年十一月から開始された。松代の象山地区(佐久間象山)は松代出身の兵学家・旧宅や象山神社があり、象山ゆかりの地区である。一八一〜一八六四)舞鶴山(現在は気象庁精密地震観測室があり、最近、北朝鮮の核実験を観測している)と皆神山の一带は全山岩盤が厚いところで、この地形が選ばれたものである。折りしも大戦末期で資源資材も枯渇し機械力を使つての掘削でなく人力と人海で行われている。投入された日本人、朝鮮人の労働力は三〇〇万人に及んだ。交代、昼夜兼行で行われた。壕は幅四、高さ二・七メートル、二十メートル間隔に掘削され、五十メートルごとに横の連絡坑があり、基盤の目のように掘り抜かれた。総延長五、八五三・三三メートルに及んだ。全工程の七十五割の時点で終戦をむかえ中止となった。天皇の行在所もほぼ出来あがり、内部の生活の場所のための資材も運ばれはじめたという。

現在壕内は五百メートルが見学可能である。ヘルメットをかぶり壕の中に入っていく。ひんやりとした空気、壕の岩は見るから硬く、掘削の労働者の呻吟が聞こえてくるようである。

九州産の小麦を使用したサブレです。

九州産の小麦を使用したサブレです。

御菓子處 石村萬盛堂

〒812-0028 福岡市博多区須崎2-1  
TEL 092-962-5000

# 第五七六回 宗像大社歌会詠草

大野展男選毎月25日メロ



**評** 北九州市 八幡西区 吉田ウト子  
 有り無しに風に揺れつつしづくして落暉に耀ふ垣のアジサイ  
 三句以下は「しづくして垣のアジサイ落暉に耀ふか  
 「雨のあとの落暉に耀ふ垣のアジサイ」のどちらかだ  
 ろう。いい景なのだが惜しい。

**評** 北九州市 八幡西区 豊田ミツ子  
 戦野より拾ひし雨の日のポストについて傘さしかける  
 重い過去があるのだろうか、この突飛な行為に何人  
 の人が従いてゆけるだろう。

**評** 福岡市 若木台 野間 精一  
 週一度来る行商の魚屋が今朝も浅蜷を売ってゆきたり  
 なつかしい風景である。ただ作者が浅蜷好きなのか、魚屋が浅  
 蜷しか持っていないなかったのか、気にかかる「今朝も」のもである。

**評** 宗像市 土穴 山本 静子  
 黄のあやめときわやかに咲くあした卒寿となりぬ生れ日今日は  
 黄あやめに己の生命を転化したよるこびの歌。結局  
 は「今日は生れ日」と順直に叙した方がいい。

**評** 宗像市 田久 井上 光  
 「父の日」を子に励まされ入会すインターネットの囲碁のサロンに  
 老いてなほ新しいものに挑戦する井上さんである。

**評** 宗像市 東旭ヶ丘 天野 玲子  
 朝採りの胡瓜のトゲを気にしつつ隣りへあげる垣根越しにて  
 いい近所付き合いいには、新しい証據であるトゲを気  
 する優しい心があつてこそそのものである。

**評** うきは市 浮羽町 向 則正  
 わが肺に水の溜りて息乱る死の影感じ明日を思はず  
 心細さが故に弱気に、頑張つて下さい。

**評** 福津市 若木台 山崎 公俊  
 むなかたの神のやしろの檜の葉の茂みしづかに夏は来れり  
 敬神の気持は判るが「神の」しづかに「は言い過ぎ」。

**評** 宗像市 田久 卷 桔梗  
 あをき瞳の青年われにほほめばはいやりかへす鳥居の下に  
 四句「ほほゑみかへす」の方が素直でいいと思う。

**評** 福津市 星ヶ丘 佐々木和彦  
 熟したる桃の実ふたつ落ちていて地上の虫に齧られていつ  
 「落ちていて」と「地上」「いて」と「いつ」の重なりが気になる。

**評** 宗像市 田野 森 甲子  
 朝空に羽こころみる燕二羽つばめ返しに空とぶ夢を  
 上句と下句を倒置し「つばめ返しに空とぶことを夢  
 みるや子燕しきり羽ばたきてをり」はいいかが。

**評** 宗像市 大島 杉田 禮子  
 オンドルに腹這い国の母恋いて泣きし満州の日々懐かしき  
 遠い遠い日の思い出。「懐かしき」より「七歳なりき」  
 など当時の年を出した方が切実感が出る。

**評** 北九州市 戸畑区 田中ハツセ  
 腰の痛み出ぬを祈りつ咲き終るさつきの剪定あとは一鉢  
 さつきの鉢の数の多きゆえか年のせいかいずれにしろ腰痛はきつい。

**評** 宗像市 光岡 白土 凌一  
 ゴミ一つ拾ふ心の温かさ吾も見習い拾いな  
 いい心掛けである。是非実施して下さい。下句は「そ  
 れを見習い吾も拾はむ」と定型に。

**評** 福岡市 南区 加野シノブ  
 道の辺に咲きし紅き草の花歩みをとめて振り返り見る  
 上句は俳句調になつていたので「道の辺に紅く咲き  
 たる花ゆえに歩みを止めてしばし見つめる」とする。

**評** 福岡市 南区 井田有久衣  
 不景気もどこ吹く風と朋友とゲームに興ず時間忘れて  
 「どこ吹く風」は俗っぽいので「不景気と吾は思えど」位がいい。

**評** 宗像市 光岡 森田富佐子  
 友の部屋に折る蘭の花開き小さき花びら友と愛でるも  
 少し直したが素直に詠われた所がいい。

**評** 福津市 花見 佐藤 純一  
 吾が母は意味の分らぬ「そそりびき」口ぐせになりじめをちから  
 毫の境にはいつた母を氣遣う歌だが「いじめをちから」が判らない。

**評** 福津市 中央 池浦千鶴子  
 今朝とりし新玉葱の切り口ゆ乳色の汁滲みてやまず  
 宗像市 日の里 大和美由紀

**評** 河鹿鳴く千石峡を楽しみに歩こう会の予定日印す  
 宗像市 日の里 大和美由紀

**評** 選者詠  
 そこに違和あることを語りつたまさかの会勢はす酒は  
 参つたと言ふ感じにて潮ひきし岩場に大きき水母のこれり  
 岸辺より泳ぎ去る鯉見つつ思ふ病みてより歌見せぬ女人を

# 第五五一回 俳句作品集

宗像市 光岡 白土 凌一  
 雀の子エサをさがしてうろうろと  
 宗像市 日の里 花田いつ枝  
 解きほぐす振れホースや茄子太る

## 8月祭事暦

毎月1-15日	月次祭
午前10時~	高宮祭 第三宮祭 第二宮・宗像護国神社祭(1日)
午前11時~	宗像護国神社祭(1日) 浦安舞奉奏(1日) 豊栄舞奉奏(15日)
7日	中津宮七夕祭
午後7時~	於=筑前大島 中津宮
15日	宗像護国神社 千灯明祭
午後7時~	於=宗像護国神社

## 編集後記

幸いデータは無事で肩を撫で下ろ  
 しましたが、使用できない数日間  
 は仕事にならず、弊誌の出版にも  
 影響がでました▼神明奉仕は、社  
 殿・境内の美化、公的・私的祭典の  
 奉仕、参拝者の応接がベースです  
 が、当大社は三部六課ごとの社務  
 があり、小学生は広報です。FAXも  
 使いますが、原稿や諸々デザイン、  
 写真賞出などの大半が現在ではデ  
 タのやりとりです▼しかし今回、  
 便利な反面トラブルが起きた場  
 合、素人ではどうしようもないこ  
 とを痛感しました。結局出入りの  
 業者さんに修理していただきました  
 たが、メーカーに出すと中のデー  
 タは保証されず、初期状態で戻つ  
 てくるとのこと。その業者さんが  
 神様にみえました▼「不易流行」、  
 神社も時代の流れに取り残されな  
 いのに必死です。暑い日々が続き  
 ますがどうぞご自愛下さい。(塚)

宗像大社社務所 会  
 発行所 宗 像

〒811-3505 福岡県宗像市田島  
 電話 0940-62-1311(代)  
 発行人 葦津幹之  
 編集人 大塚宗延  
 制作 セネラルアサヒ  
 印刷 セネラルアサヒ

毎月1日発行 定価1年送料共1,000円